

Point!

「職種のデパート」と言われるほど幅広い
職種がある新聞社。多様な受け皿で、
柔軟な働き方の実現に力を入れています！

- 所在地 / 宮崎市高千穂通1丁目1-33
- 代表者名 / 代表取締役社長 河野 誠司
- 事業内容 / 日刊新聞の発行
- 従業員数 / 279名
- ホームページ / <http://www.the-miyanichi.co.jp/>



背景

かつては女性社員が極めて少なく、長時間労働が当たり前の風潮があった新聞社。しかし2004年に約11%だった女性社員の比率は徐々に増え、職場も広がりました。女性が子育てと仕事を両立できる働きやすい職場づくりに向け、制度の整備に着手しました。さらに、女性に限らず、全ての社員が能力を発揮できる環境を目指し、19年までに2回、「くるみん認定」を取得しています。

取組

- ・子が3歳になって以降も小学校就学前まで所定外労働の制限が可能
- ・子が3歳になって以降も小学校就学前まで育児短時間勤務が可能
- ・育児休業は分割取得が可能
- ・通算6カ月の介護休業（有給）の取得が可能

効果

現在、女性社員の比率は17%にまで増え、支援制度の活用も進んでいます。こうした流れの中で、男性社員の積極的な育休取得が増えてきました。2020年度には、報道部を含む3部署の4人が育休を取得。19年度までの10年間の取得者数合計が6人だったことからしても、男性社員の育児を担う意識が社内全体に広がり、変化していると感じます。

また、子育てや介護との両立支援を続けてきた下地があったことで、近年の働き方改革の流れも敏感にとらえ、制度の整備や改善に着手できたように思います。新聞発行の業務上、非常時の長時間労働や夜間業務など、劇的な変化、改善が難しい部分もありますが、男性も女性もワーク・ライフ・バランスを取りながら長く働き続けられる環境づくりを今後も進めたいと考えています。

VOICE

従業員の声

4歳になる娘を育てながら1日6時間の育児短時間勤務をしています。保育園の送迎や病気の際の世話などを頼れる家族が身近にいないため、時短勤務の他にも、有休が半日単位で取得できるなどの細やかな制度の下で、柔軟な働き方ができることがとても心強く、ありがたいです。

代表者の声

地方紙である弊社のスローガンは「読者と共感、県民と共感」。県民や地域に貢献したい、という強い思いで働く社員が多くいます。社員が日々いきいきと仕事をし、豊かな心で生活していくことが、地域社会への貢献にもつながると考え、今後も制度の充実や意識改革に取り組みます。